

解答は別紙の解答欄に記入しなさい。

I 次の文章（イ～ハ）を読んで、文中の空欄（A～O）に当てはまる語句をそれぞれの語群の中から選び、1～9の数字を、また語群の中に適当な語句がない場合は0を、解答欄（解答用紙の右上）に記入しなさい。

(イ) 『魏志』倭人伝に記された倭の「国々」のうち、一大率を常駐させた（ A ）や、57年に後漢に朝貢をした（ B ）などは位置がはっきりしているが、邪馬台国や、これと対立していた（ C ）などの位置には諸説がある。（ D ）年に魏が帶方郡を支配下に治めると、邪馬台国の女王卑弥呼は、（ E ）年に魏に使いを送った。

1 一支国 2 狗奴国 3 投馬国 4 伊都国 5 236
6 237 7 238 8 239 9 240

(ロ) 『宋書』倭国伝には、5世紀に、倭の五王が繰り返し南朝に朝貢をしていたことが記されている。そのなかで、（ F ）は（ G ）の「世子」であり、（ H ）は（ F ）の「弟」という記述がある。その年代と血縁関係から、（ F ）は、『記紀』に記された（ I ）、（ H ）は（ J ）にあたると考えられている。

1 讀 2 興 3 珍 4 武 5 済
6 安康天皇 7 反正天皇 8 履中天皇 9 仁徳天皇

(ハ) 奈良時代には、盛唐文化の影響により、壮大で優美な建造物が発達した。平城京右京にある（ K ）の（ L ）は、天平期を代表する建造物として知られ、脱活乾漆の盧舎那仏像を本尊とする。（ K ）の（ M ）は、平城宮朝集殿を移築したものである。（ N ）には、三月堂の名で知られる（ O ）の正堂部分などに、当時の建物が残っている。

1 法隆寺 2 薬師寺 3 唐招提寺 4 興福寺 5 金堂
6 法華堂 7 講堂 8 戒壇院 9 伝法堂

II 次の文章を読んで、文中の空欄（A～G）にはイ群から、（H～L）には口群から、（M～T）にはハ群からそれぞれ適当な語句を選び、1～9の数字を、適当な語句がない場合には0を、解答欄（解答用紙の右上）に記入しなさい。

1951年、（ A ）をめぐって左右両派に分裂、対立していた（ B ）は、1955年の総選挙において、左右両派がそれぞれ獲得議席数を増加させると、10月には統一を果たした。これに応ずるよう、11月には吉田茂が率いる（ C ）と、（ D ）を党首とする（ E ）の保守二党も合同し、（ F ）が結成された。以後、この二つの政党だけで衆議院の議席数の（ G ）割以上を占める時期がしばらく続いたが、（ F ）は議席数で常に（ B ）を圧倒していた。

1950年代中頃の（ H ）、1961年までの（ I ）、1960年代中頃のオリンピック景気、60年代後半の（ J ）と、年率10%前後に及ぶ高度経済成長に支えられ、（ F ）を基軸とした政治の時代はその後も続いた。一方高度成長のもたらした公害や、都市の過密化と農村の過疎問題などから地域の住民運動がもりあがり、1967年には（ K ）が（ L ）知事に当選するなど革新首長が各地に誕生した。

1970年代に入ると（ M ）の実施や（ N ）により日本経済は深刻な打撃を受け、保守勢力への批判も高まり、保革伯仲の時代を迎えることになった。一方（ O ）や公明党なども勢力を伸ばし、野党の多党化が進み、二大政党の勢力は次第に低下していったが、（ F ）は、（ P ）年8月に野党八党派の連立により、（ Q ）内閣が成立し野党となるまで政治の中軸を担い続けた。また、（ R ）年にはかつての二大政党が連立して、（ S ）を首班とする内閣を成立させ与党に返り咲いた（ F ）は、1996年には（ T ）が首相となり、再び与党の中軸をしめるようになった。

イ群

- | | | | |
|----------|----------------|---------|---------|
| 1 北方領土問題 | 2 サンフランシスコ平和条約 | 3 日本共産党 | 4 日本社会党 |
| 5 日本民主党 | 6 自由党 | 7 石橋湛山 | 8 七 |
| | | | 9 九 |

口群

- | | | | | |
|----------|--------|---------|--------|---------|
| 1 いざなぎ景気 | 2 岩戸景気 | 3 バブル景気 | 4 神武景気 | 5 美濃部達吉 |
| 6 東龍太郎 | 7 東京都 | 8 大阪府 | 9 愛知県 | |

ハ群

- | | | | | |
|---------|--------|---------|--------|--------|
| 1 変動相場制 | 2 消費税 | 3 民主党 | 4 民社党 | 5 1994 |
| 6 1995 | 7 細川護熙 | 8 中曾根康弘 | 9 村山富市 | |

III 次の文章の空欄（A～E）に当てはまる語句を記入しなさい。

元禄期および化政期に隆盛した江戸時代の文学は、いずれも町人文芸を中心とするものであった。このうち元禄期に上方で活躍した（ A ）は、武士の出身ながらも義理と人情に悩む人々の情感を見事に描き、さらに日本生まれの中国人海商鄭成功を題材とした歴史的文学『（ B ）』の作者としても知られている。化政期の文芸は江戸の繁栄を背景に、より庶民的な色彩を強めていった。遊里の風俗小説である洒落本、風刺絵入りの黄表紙本、江戸町人の恋愛を描いた人情本、庶民の笑いと生活を描いた（ C ）などが流行したが、この時期の代表的な戯作者で『修業田舎源氏』で知られる（ D ）は、後に（ E ）が実施した天保の改革によって処罰の対象となった。

IV 次の史料はある首相の演説である。この史料を読んで、設問に答えなさい。

今般憲法發布式ヲ挙行セラレ、大日本帝国憲法及之ニ付隨スル諸法令ハ昨日ヲ以テ公布セラレタリ。（中略）欽定ノ憲法ハ、臣民ノ敢テ一辭ヲ容ルコトヲ得サルハ勿論、各般ノ行政ハ之ニ準拠シテ針路ヲ定メ、天皇陛下統治ノ大権ニ從属スヘキハ更ニ贅言^{ぜいげん}ヲ要セサルナリ。然ルニ政治上ノ意見ハ人々其所説ヲ異ニシ、其説ノ合同スル者相投シテ一ノ団結ヲナシ、（1）ナル者ノ社会ニ存立スルハ情勢ノ免レサル所ナリト雖、（2）ハ常ニ一定ノ政策ヲ取り、超然（1）ノ外ニ立チ、至正至中ノ道ニ居ラサル可ラス。各員宜ク意ヲ此ニ留メ、常ニ不偏不党ノ心ヲ以テ人民ニ臨ミ、其間ニ固執スル所ナク、以テ広ク衆思ヲ集メテ国家郅隆^{しつりゆう}ノ治ヲ助ケンコトヲ勧ムヘキナリ。

(原文を一部修正)

- 問 1 この演説を行った首相は誰か、氏名を記しなさい。

問 2 この演説が行われた年月日を西暦で記しなさい。

問 3 史料の空欄（1～2）に該当する語句を記入しなさい。

問 4 下線部「各員」はどのような人々を指しているのか記しなさい。

問 5 この演説の翌年に行われた衆議院議員総選挙の結果と、それを受け開催された帝国議会の状況について、100字以内でまとめなさい。

(下書き用)

V 次の史料は、1308年に鎌倉幕府の官僚が作成した意見書である。これを読んで、設問に答えなさい。

a 禅閣御在俗の時、専ら覇業を扶け、御出世の今、漸く政要を疎かにす。この条、評定・裁判は
b 両国吏に任せ、引付・探題は七頭人に委ぬ……大事を評定するには、なお御出仕を待つか。

近年、然るべき人々、なお過差違法、家用不足、或いは 領所を売り、或いは料所に置く。料所と号するは、所帯を家人に給せず、
d 富有の輩に預け与え、錢貨等を充て取るの儀なり。郎従顧問の分ただ少なく、親戚扶持の至り相缺き、大名の号あるも、猛勢の実なし。

またここに分限の減ずるところあり。父祖一身の跡を以て子孫数輩に譲るの処、官仕の躰、ただ父祖のあり様の如く、公事の足、さらに子孫により減ずる儀なし。諸御家人所領分限の事、昔は過半が千町に劣らざるか。今は千町の分限、十余人を過ぎざるか。十分の九は四、五十町か、それ以下二、三十町、十、二十町ばかりなり。十町の内またこれなし。この輩、
e 番役につき参住せしめ、
f 訴訟により召し置かれ、渡世の法の合期叶わず。

(原漢文、一部省略・修正)

※出世=出家 過差=ぜいたく 領所=所領 顧問=恩恵をかけること

問1 下線a 「禅閣」は、当時の幕府における最高権力者である。その氏名を記しなさい。

問2 これより四半世紀近く前、まだ若い「禅閣」を後見して政治を主導していた伯父とその一派が、対立派によって滅ぼされる事件が起こった。何と呼ばれる事件か、記しなさい。

問3 下線b 「両国吏」とは、幕府の職制上、將軍の下にあって政務全般を統括する最高責任者2名のことである。その職名を2つとも記しなさい。

問4 下線c のような行為への対策として、これより十年ほど前に「禅閣」が発した法令の名称を記しなさい。

問5 下線d 「富有の輩」を代表するのが高利貸である。この時代の高利貸業者は何と呼ばれていたか。

問6 下線e 「番役」のうち、「禅閣」の父によって設けられたものの名称を記しなさい。

問7 下線f 「訴訟」のため、京都から鎌倉に下向した女性の仮名日記として著名な紀行文の題名を記しなさい。

問8 この史料から、当時、御家人社会ではどのような事態が進行し、そのことが幕府にとってどのような意味を持っていたことがわかるか。下記の3つの言葉を用いつつ、100字以内で論述しなさい。

細分化 売却 軍事力